

2021 年 3 月 2 日

農林中央金庫

Okage 株式会社への出資について

～外食業界の DX 支援を通じた国内農産物消費下支え取り組み～



農林中央金庫（代表理事理事長：奥和登、以下「当金庫」）は、このたび、外食店舗の来店客が各自のスマートフォンで注文できるモバイルオーダーサービス等を提供する Okage 株式会社（代表取締役 CEO：内田善久、以下「当社」）に対して、「F&A 成長産業化出資枠」*を通じた出資を行いましたのでお知らせいたします。

外食業界はコロナ禍を契機として、これまでの「店内」外食主体の事業構造から、持ち帰り・デリバリーなどの自宅で楽しむ「中食」市場の取り込みなど、これまでの垣根を超えた業態の拡充が進んでいます。このような中、店舗運営の効率化や情報の一括管理のため、DX（デジタルトランスフォーメーション）化が急速に求められています。

当社の提供する「Okage シリーズ」はフルクラウドによる統合管理をコンセプトに、モバイルオーダー、セルフレジ、モバイル POS など店舗運営を改善するサービスを提供しています。加えて、商品や食材在庫、顧客情報などを統合管理することにより、リアルタイムな販売促進を実現し、価格調整による需要の平準化、在庫適正化によるフードロスの削減など、サプライチェーンを最適化するサービスの提供に向け取り組んでいく予定です。

外食業界は食品最終消費全体の約 3 割を占める国産農産物の重要な出口となっています。当金庫では、当社のサービスが外食産業の店舗運営改善や業態拡充の解決策となり、外食業界の活性化を通じた国産農産物の消費の下支え、ひいては生産者所得の拡大につながるものと考えております。今回の出資を契機に、当金庫のネットワークを活かした連携を進め、外食業界の DX 支援を通じた活性化をサポートしていきます。

また、本件を通じて、農林水産業を取り巻くサステナビリティの課題である食品ロスの削減等の環境・社会課題についても、当社と継続的な連携・対話を行い、「農林水産業と食と地域の暮らしを支えるリーディングバンク」として課題解決に貢献してまいります。

引き続き当金庫は、投融資を通じて環境・社会課題の解決に貢献し、SDGs の実現をはじめとするサステナブル経営を推進してまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

農林中央金庫 総務部広報企画班（大谷、後藤）TEL：03-5222-2017

* 「F&A（Food and Agri）成長産業化出資枠」

当金庫が 2016 年 5 月、「農林水産業の成長産業化」への貢献の一環として、農林水産業の高付加価値化・生産性向上のため、系統団体および国内外との企業との協働およびそれを支えるリスクマネーの供給を目的に設定しました。